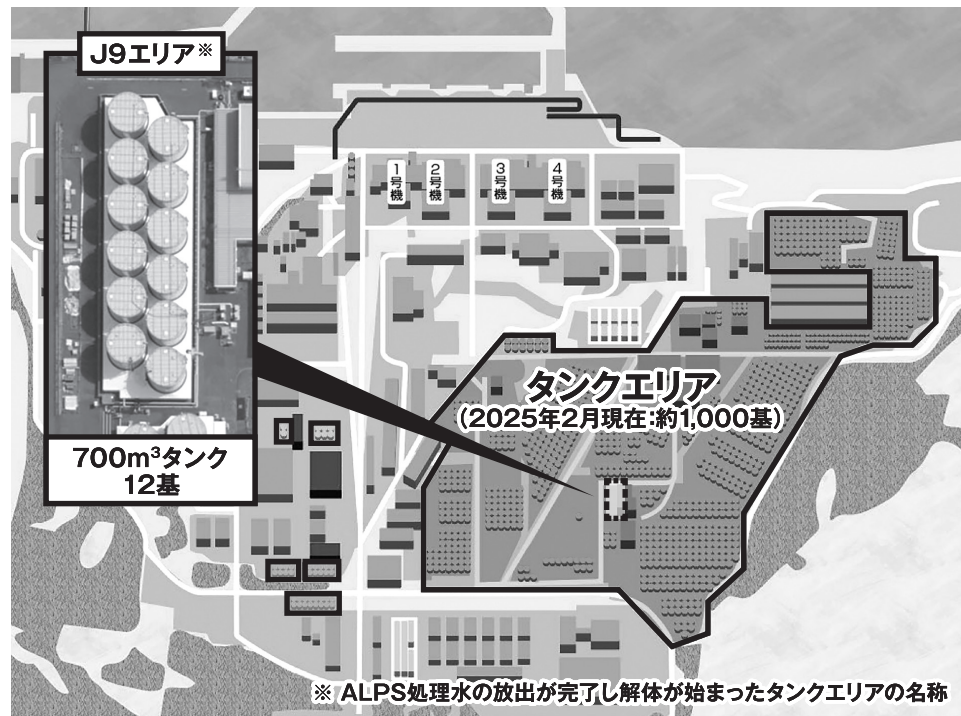
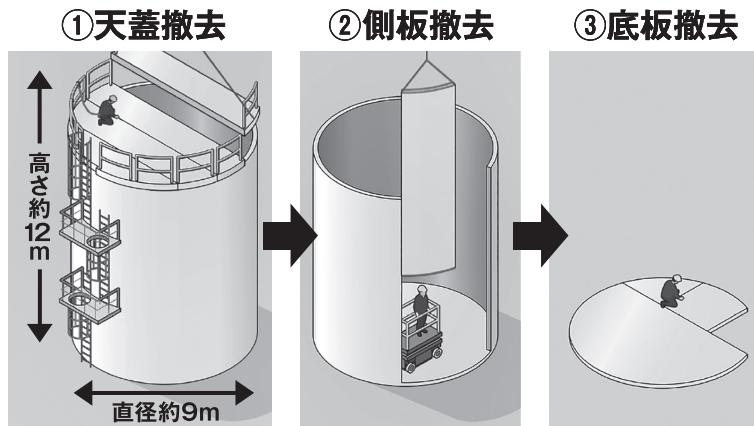


2025年2月14日から、ALPS処理水の海洋放出によって空となったタンク（溶接型）の解体作業を開始しています。



タンク解体作業の手順について



- ▶ タンクの解体は、①天蓋→②側板→③底板の順に行います。
- ▶ タンクはガスを用いて切断し、切断したタンク片はクレーンでタンク脇に移動させます。
- ▶ 解体したタンク片(天蓋、側板、底板等)は、コンテナに収納し、構内の一時保管エリアで保管します。

Q.解体したタンクはどのような？

- ▶ 解体したタンク片はコンテナに収納し、福島第一原子力発電所構内の一時保管エリアで保管します。
J9エリアの解体作業は、2025年度末頃まで行う予定です。

Q.タンクを解体した後、空いた敷地は？

- ▶ 廃炉作業に必要な関連施設を新たに建設する予定です。
(J9エリアはテニスコート約6面分の広さがあります)

Q.タンク解体時の安全対策は？

- ▶ タンク解体に先立ち実施した事前調査では、J9エリアの全てのタンク内の線量が十分に低い値であることを確認しています。また、タンク解体作業中も、作業場所にはモニタリング装置を追加して設置し、周辺環境へ影響を与えないよう、安全最優先で作業を進めています。
なお、モニタリングで異常が発生した場合、作業を中断し、散水や集塵の強化などを行い、通常時に戻ったことを確認してから作業を行います。



J9エリアタンク解体作業の解説動画はこちらをご覧ください
▶[解説動画: J9エリアタンク解体作業について]
<https://youtu.be/b-EsZ17igLM>



ALPS処理水に関する情報はこちらをご覧ください
▶[処理水ポータルサイト]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/>



福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策
▶[皆さまのご意見をお聞かせください]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22